



第10回ひろしまピースカップ&インターナショナルハンザレガッタ

2017年10月13日～15日

広島観音マリーナ

主催：公益財団法人 広島県セーリング連盟

帆走指示書（案）



スポンサー公告があれば掲示

概要：2016年のワールドの帆走指示書を2017年の第10回ピースカップ用に修正したものです。

1 適用規則

- 1.1 本大会にはセーリング競技規則(RRS)2017~2020に定義された規則を適用する。
- 1.2 下記のRRSは次のように変更される。
 - a) RRS41(外部の援助)：参加者の安全確保の目的に限り口頭での指示は許される。
 - b) RRS61.1(a)：SKUD18を除き次のように変更される。
インシデントの際に可能な限り「プロテスト」の掛け声は規則により要求されるが、競技者に肉体的ハンディキャップ等がある場合には、掛け声は抗議の要件とはならず、競技者は審問にあたり「プロテスト」の声を掛けられなかった正当な理由を説明しなければならない。
 - c) RRS 63.3(a)：審問に参加する代表者はインシデントの際に必ずしも艇に乗艇している必要はない。
- 1.3 hansa (Liberty) クラス規則C5の乗員重量の均等化に関する規則は適用しない。
- 1.4 使用言語間で矛盾が生じた場合は、日本語が優先する。

2 競技者への通告

競技者への通告は、会場内に設置された公式掲示板に掲示される。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する60分前までに通告する。また、レース日程の変更については、前日の18時までに通告する。

4 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、防波堤のフラッグ掲揚ポールに掲揚される。
- 4.2 回答旗(AP旗)が陸上でされた場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

5 レース日程【今後調整項目】

5.1 イベントのスケジュールは下記：

日付	時間	イベント
10月13日(金)	14:00~17:00	受付&測定は一部トライアルを予定
10月14日(土)	08:00~	受付&
10月14日(土)	09:00~	開会式・スキッパーブリーフィング

10月14日（土）	11:00	レース
10月14日（土）	18:00～	懇親会
10月15日（日）	10:00～	レース
10月15日（日）	16:00	表彰式

5.2 レースのスケジュールは下記：

日付	予告信号	レース	クラス	カテゴリー
10月14日（土）	10:55～	1R&2R	ハンザ 303W（二人乗り）	リパティ（一人乗り）
10月14日（土）	13:55～	1R&2R	ハンザ 2.3、303S	一人乗り
10月15日（日）	9:55～	3R&4R	ハンザ 2.3、303S	一人乗り
10月15日（日）	12:25～	3R&4R	ハンザ 303W（二人乗り）	リパティ（一人乗り）

5.3 午前と午後のセッションで各2レースが予定され、引き続きのレースは先のレース終了後できるだけ早く開始される。午後のレースでは、追加の1レースが実施されることがある。

5.4 レースの最終日には、15:01以降には予告信号は掲揚されない。

6 クラス旗【今後調整項目】

クラス旗は下記：

クラス	記章	カラーバックグラウンド
ハンザ2.3 一人乗り	ブルー	ホワイ
Liberty 一人乗り	ホワイ	パープル
ハンザ303 一人乗り	レッド	ホワイ
ハンザ303 二人乗り	ホワイ	レッド

7 レース・エリア

7.1 添付Aにてレース・エリアの位置を表わす。

7.2 スタート・エリアは、スタート・ラインの風上と風下各50メートル、スタート・ライン両端のポール外側各50メートルの長方形エリアとする。

8 コース

8.1 添付Bのコース図は、レグ間の概の角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側を通過するかを含むコースを示す。

8.2 予告信号以前に、レース委員会のシグナル・ボートに最初のレグの概のコンパス方位を掲示する。

8.3 コース信号として次の数字旗をクラス旗と同時に掲揚する。

数字旗1 アウターループ

数字旗2 インナーループ

9 マーク

- 9.1 マーク 1 とマーク 2 は、黄色の三角錐マークとする。
- 9.2 マーク 3 とマーク 4 はゲート・マークとし、**それぞれ 2 つのオレンジ色の球形ブイを使用する。**

10 スタート

- 10.1 レースはRRS26を用いて行われる。
- 10.2 スタート・ラインは、スターボードの端に位置するレース委員会シグナル・ボートのオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端に位置するレース委員会艇のオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 10.3 オレンジ色球形のインナー・リミット・マーク (ILM) が設置された場合、スタート・ラインは、レース委員会シグナル・ボートのオレンジ旗を掲揚しているポールと、インナー・リミット・マーク (ILM) のコース・サイドの端とする。
- 10.4 予告信号が出されないクラスの艇は、他のクラスの予告信号からスタートするまでの間は、スタート・エリアに進入してはならない。 [DP]
- 10.5 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった (DNS) 」と記録される。これはRRS A4とA5変更している。

11 次のレグのコースの変更

- 11.1 次のレグのコースの変更についてはRRS33によるが、プラス旗及びマイナス旗については、視認できる距離であるため表示しない。これはRRS33を変更している。
- 11.2 RRS33が適用された場合には、次のレグの最初のマークはピンク色の円柱形ブイが使用される。

12 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、添付図Bに示すレース委員会艇の青色旗を掲揚しているポールと、レース委員会艇の風下に設置されたオレンジ色ブイのポールとの間とする。

13 ペナルティー方式

- 13.1 付則P (RRS42の特別処置) が、指示13.2及び13.3と13.4で修正され適用されます。
- 13.2 艇がRRS P1に基づきペナルティーを受けた場合、艇のペナルティーはRRS44.2に基づく 1 回転のペナルティーとする。艇がこの規定に基づくペナルティーを履行しない場合には、審問なしに失格とされる。これは、RRS P2.1を変更している。
- 13.3 艇がレガッタ中に2回以上のペナルティーを課された場合、艇はRRS44.2に基づく 1 回転のペナルティー を履行しなければならない。速やかに 1 回転のペ

ナルティーを履行しない場合、その艇は審問なしに失格とされ、その得点は除外できない。これは、RRS P2.2を変更している。

13.4 RRSP2.3 は削除する。

13.5 RRS44.1の最初の文にある「2回転ペナルティー」を「1回転ペナルティー」に変更する。

14 タイム・リミットとターゲット・タイム

14.1 スタート信号後20分以内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。

14.2 レースのターゲット・タイムは最初のボートがフィニッシュするまで40分とする。ターゲット・タイムどおりにならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

14.3 最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、20分以内にフィニッシュしなかった場合、その艇は審問なしに「フィニッシュしていなかった(DNF)」と記録される。これはRRS35, A4とA5を変更している。

15 抗議と救済要求

15.1 プロテスト書類はレースオフィスで入手できる。抗議および救済要求または審問再開の要求は、適切な締切時刻までにレースオフィスに提出されなければならない。

15.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レース終了時刻後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。

15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問があることを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告が掲示される。

15.4 レール委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるため公式掲示する。

15.5 指示14に基づきRRS42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは公式掲示される。

15.6 指示10.4, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24と 25 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これらはRRS60.1(a)を変更している。

15.7 審問の当事者は、判決を通告されてから24時間以内に審問再開を要求することができる。レースを行う最終日では、要求は次の時刻までに提出されなければならない。

(a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時刻。

(b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後30分以内。

15.8 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から30分以内に提出されなければならない。これはRRS62.2を変更している。

15.9 チャーター艇の艀装品の不具合については、救済要求の根拠とはならない。

これはRRS62.1(a)を変更している。

16 得点

- 16.1 大会の成立には、1レースを完了することが必要である。
- 16.2 (a) **完了したレースが4レース未満の場合、艇のシリーズの得点は、全てのレース得点の合計とする。**
(b) **4レースが完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。**
- 16.3 完了したレース得点に間違いがあると考える艇は、間違いを正すことを提言するため、レース・オフィスで入手できる得点質問票を提出することができる。

17 安全規定 [DP]

- 17.1 安全を確保するため出艇申告及び帰着申告はタリー方式で行う。
 - a) その日に参加しようとするレースの予告信号の30分前までに、競技者または代理人は、レース委員会が準備したタリーボードから自艇のタリーを取った後にレースに参加しなければならない。
 - b) その日の参加レースが終了またはレース委員会艇から陸上に帰着する旨の信号が掲揚された場合、競技者または代理人は、30分以内にタリーボードにタリーを返却しなければならない。
- 17.2 レースからリタイアする艇は、速やかにリタイアの意思を近くのレース委員会艇に伝えなければならない。

18 乗員の交代と装備の交換 [DP]

- 18.1 競技者の交代は、レース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。
- 18.2 損傷または紛失した装備の交換には、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。
- 18.3 実行委員会からチャーターした艇及び艀装品には、いかなる改造も加工も行ってはならない。

19 大会広告 [DP]

競技者は、艇の両側に大会実行委員会よって供給された大会広告を掲示しなければならない。

20 運営艇

運営艇の識別は次のとおりとする。

- a) レース委員会艇：RCと記載されたピンク色の旗
- b) ジュリーボート：JURYと記載された緑色の旗
- c) レスキューボート：RESCUEと記載された旗

21 支援艇 [DP]

- 21.1 支援が必要な選手のために主催者が準備した支援艇に、定員の範囲内で支援者は乗艇し支援することができる。
- 21.2 乗艇し支援を行う者は各チーム2名以内とし、13日の受付時に所定の支援艇乗艇申請書を提出し、許可を得た者のみが乗艇できる。
- 21.3 主催団体は、支援の程度および支援艇の定員を考慮して乗艇する支援者を決定する。

22 ごみの処分 [DP]

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

23 上架の制限 [DP]

Libertyは、レース委員会の事前の書面による許可があり、その条件に従っている場合を除き、レガッタ期間中上架してはならない。

24 潜水用具とプラスチック・プール [DP]

最初のレースの準備信号からレガッタの終了までの間、水中呼吸器具やプラスチック・プールまたはそれらに相当するものは、キールボートの周辺では使用してはならない。

25 無線通信 [DP]

緊急時を除き、レース中の艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受診してはならない。これは携帯電話にも適用される。

26 賞

下記のクラスに賞が与えられる。

- ハンザ2.3 Single-Person World Champion
- ハンザ303 Single-Person World Champion
- ハンザ303 Two-Person World Champions
- Liberty World Champion
- Liberty Servo World Champion

各クラス1～3位、および 特別賞が与えられる。

27 責任の否認

競技者は、自分自身の責任でレガッタに参加する。RRS 4『レースすることの決定』を参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

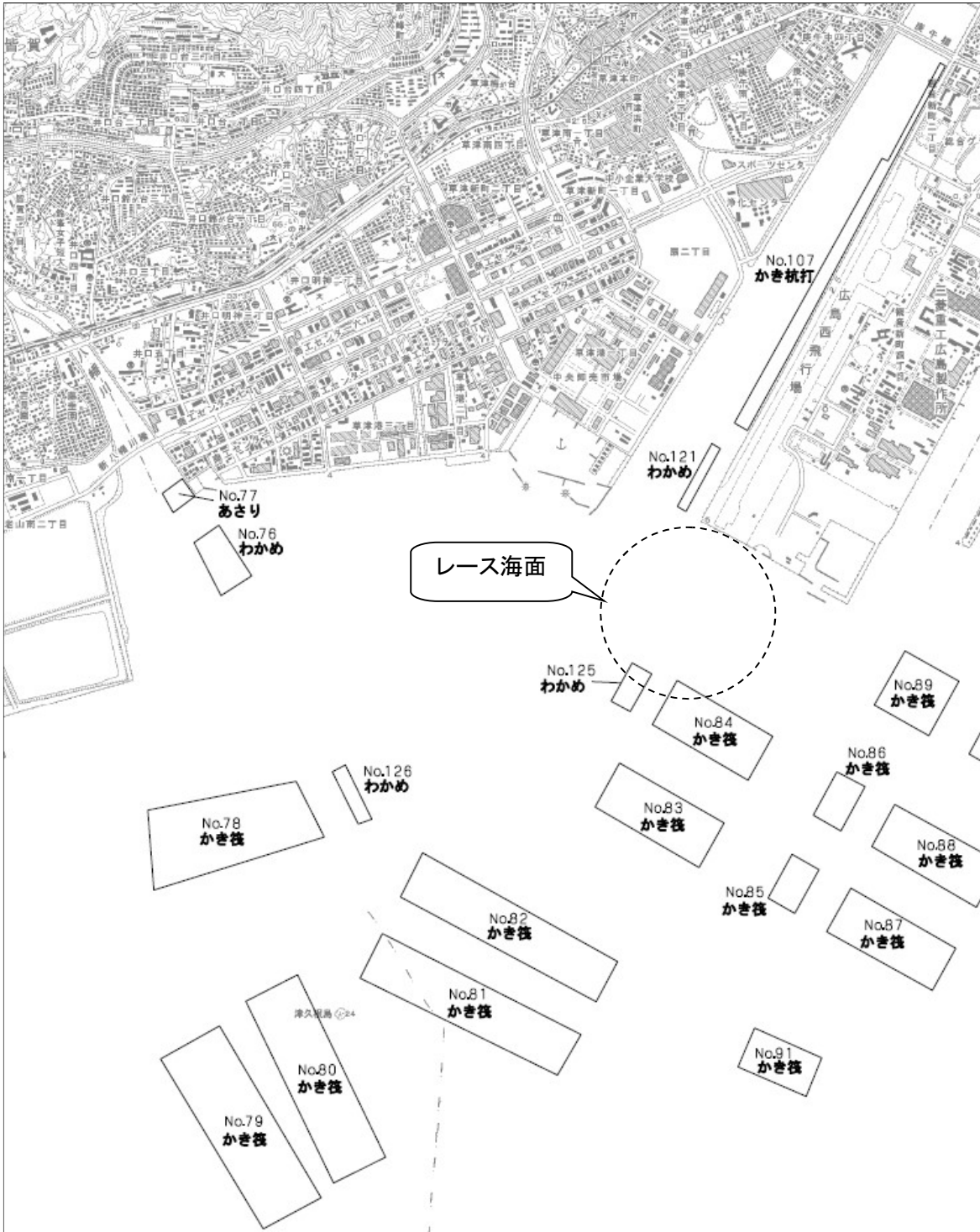
28 保険

各参加ボートは1事故につき最低1億円の第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

29 肖像権とメディア

大会に参加する競技者は、レース参加時の写真撮影やビデオ撮影やレガッタ使用時の撮影などを受け入れ、そのようなイメージを撮影したり、イメージのメディアでの使用、再使用、出版、再出版に同意するものとする。それに関連して補償なしで競技者の名前を使ったり使用しなかったり、競技者の同意無しでそのようなイメージを使ったりすることに同意します。

レースエリア位置



コース図

アウトーループ
S-1-2-3S/3P-2-3P--F

インナーループ
S-1-4S/4P-1-2-3P-F

